

平成19年度文化庁『舞台芸術の魅力発見事業』

劇団一跡二跳 公演

アステールプラザ芸術劇場シリーズ
主催:特定非営利活動法人子どもコミュニティネットひろしま
(財)広島市文化財団アステールプラザ
文化庁

■チケット
一般:3,500円
学生:2,500円
※当日は500円増

■問い合わせ先
〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-1 幟会館2F
ひろしまNPOセンター内
NPO法人子どもコミュニティネットひろしま
TEL:082-511-0004
FAX:082-225-0156
E-mail:oyakonet@hotmail.com

■チケット取扱い場所
デオデオ本店・アステールプラザ
子どもコミュニティネットひろしま事務所

誰も見たことのない場所



11月1日(木) 19:00開演 (18:30開場)
アステールプラザ 中ホール
〔作〕古城十忍 + 劇団一跡二跳 〔演出〕古城十忍

2007
YAMAGUCHI UNIVERSITY OF EDUCATION

「自殺はなぜ起こるのか？」
「自殺へと向かう人の心は何を見つめているのか？」――。

今なおタブー視される「自殺」に焦点を当てた
日本初のオリジナル「ドキュメンタリー・シアター」

我が国での自殺者の数は年間 30,000 人を超える。1998 年に 30,000 人という大台を突破して以来、高水準での横バイ状態が今も続いている。この数字は先進国の中でも飛び抜けて高い（ロシアに次いで 2 位）。そんなにも日本は「生きにくい社会」なのだろうか。もしかしたら日本の社会には、人を自殺へと駆り立てていく「何か得体の知れないもの」が潜んでいるのだろうか――。

自殺を語ることはまだまだタブー視される現代にあって、この『誰も見たことのない場所』では自殺にまつわることにについて実在する多方面の方々にインタビューを敢行。その証言をもとに舞台化している。この「ドキュメンタリー・シアター」と呼ばれる手法でのオリジナル作の上演は日本初。

今回インタビューに応じてくれたのは――首吊り自殺で長年連れ添った夫を亡くした妻。電車で飛び込んだ人を轢いてしまった運転士。青木ヶ原樹海を管轄する富士吉田警察署の刑事。インターネット自殺サイトの管理者。自殺対策の法制化に奔走する若き NPO 法人代表。さらに、自殺遺体処理を幾度となく経験した警察官、脳外科医、カウンセラーなど、実にさまざまな立場の人々。その生々しい体験談を交えて、「死ぬこと・生きていくこと」、その意味を浮かび上がらせていく。あらゆる角度から語られる数多くの貴重な証言を通して、果たして私たちにはいったい何が見えてくるのか――。

観客一人一人が
「生きていくこと」を考える

「ジョイント・ストック・システム」ドキュメンタリー・シアターとは？

「ジョイント・ストック・システム」は演出家・俳優全員が実在の人物にインタビュー取材を行い、そこで得た証言に基づいて脚本を構成していくもので、日本でもようやく「ドキュメンタリー・シアター」という呼び名で知られるようになってきています。劇団主宰の古城十忍氏は2005年に文化庁新進芸術家海外留学制度でイギリスに留学し、「ジョイント・ストック・システム」の創作過程をリサーチしてきており、帰国後の2006年には同システムによって書かれた『アラブ・イスラエル・クックブック』（ロビン・ソーンズ作）を翻訳上演しています。本作では、その成果を踏まえ、これまでも数多くの社会問題を舞台化してきた劇団一跡二跳ならではの「ドキュメンタリー・シアター」としてオリジナル作品に取り組みます。実在するたくさんの方々に取材を行うため、相当に時間と手間のかかる創作方法ですが、この作品を上演することで、ヨーロッパに比べて未発達な「ジャーナリズム演劇」を定着させていくのが狙いです。「自殺防止」に携わっている方、青木ヶ原樹海近辺に住む方、「生きようと戦っている」方など多方面から採り上げることによって、観客一人一人が「生きていくこと」を考えていける、自殺防止に繋がることを目指した作品です。

作・演出／古城十忍 プロフィール

1959年宮崎県生まれ。熊本大学法文学部卒業後、熊本日日新聞社入社。1986年上京し劇団一跡二跳旗揚げ、以降全作品の作・演出を担当。1999年より社団法人日本劇団協議会専務理事、2007年より常務理事。『少女と老女のボルカ』『愛しすぎる男たち』『眠れる森の死体』『奇妙旅行』『パラサイト・パラダイス』など而立書房より13冊出版。2005年3月より200日、ロンドン及びスコットランドに留学、帰国後ドキュメンタリー・シアター『アラブ・イスラエル・クックブック』を上演（朝日新聞2006演劇回顧「私の3本」に選出）。2006年8月、(財)広島市文化財団アステールプラザ演劇事業「ユースのための夏休み演劇講座」では、10日間の集中稽古で『修学旅行』を発表。今年度も8月3日～12日まで「ユースのための演劇学校」を実施、『男でしゅっ！』を発表。

新たな演劇スタイルを
楽しみましょう！！

子どもコミュニティネットひろしまでは、中高生から大人に向けて、社会的な様々な問題を演劇を通して考えあう場を提供してきています。今回は、新たな演劇のスタイル「ジョイント・ストック・システム」による芝居作り「ドキュメンタリーシアター」を通して、自殺者が増え続けている日本社会の様々な背景を追い、そこから「生きるとは」、「より良く生きるとは」という課題に迫ります。ドキュメンタリータッチで作り上げていくので、観客がその問題に対して積極的に参加しているような気持ちになり、まさに観客を巻き込んだ空間を創ることが出来ます。この企画を通して、私たちが生活している社会を多様な視点で見るとともに、演劇の新たな力を感じてもらうことを目指します。

オプション企画

■ バックステージツアー
10月31日(水) 19:00～19:30

■ アフタートーク
11月1日(木) 公演終了後

※公演に関連してのオプション企画を計画しています。ぜひ、お楽しみください。